

「道路政策の質の向上に資する技術研究開発」（平成31年度採択）

事後評価結果（公表用／ソフト分野）

番号	研究名	研究代表者	評価
31-5	地域・都市構造に応じた機能階層型道路ネットワーク計画・評価手法についての技術研究開発	名古屋大学 教授 中村 英樹	B
<p>&lt;研究の概要&gt;</p> <p>地域・都市の各種拠点配置特性に応じて、求められる道路の階層数と目標旅行速度の組み合わせを明示し、機能階層型道路ネットワーク計画を立案する手法を提案するとともに、任意の道路ネットワークの機能階層化度の評価指標を開発することを目的とする。</p> <p>&lt;事後評価結果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・独創性に満ちた提案をし、それを実証的に分析している。研究としては十分な成果を挙げたと判断できる。ただ、道路行政に活かせる段階にするためには、ケーススタディを増やすなど、もう少し研究実績を積み上げて頂くことが適切である。</li> <li>・残された課題はあるものの、当初の研究目的は十分に達成され、道路ネットワークの階層化に向けたネットワーク計画を通して道路政策の質の向上に寄与することが期待できる。</li> <li>・「機能階層型道路ネットワーク」という行政的にも重要な視点に着目し、その計画・評価手法を構築した意義は非常に大きく、有用な研究成果が得られている。</li> <li>・研究開発では、主として「拠点施設の立地パターン」を中心に検討がなされており、一般的な「都市構造」に関する検討は十分になされていないように思われる。</li> <li>・道路政策の実務への活用には継続検討が必要であるが、研究としては十分な成果を上げた。</li> <li>・FS 研究を踏まえて研究計画を修正し、階層化度を用いた道路ネットワーク評価及びそれに必要な要素技術についての手法構築や実際の適用例が示された。各地域での事業効果の把握・予測等の検討に参考になると考えられる</li> <li>・このことから、研究目的は概ね達成され、研究成果があったと評価する。</li> </ul> <p>&lt;参考意見&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・報告書の「今後の課題・展望等」でも言及している「ネットワークの連続性」や「都市内街路ネットワークを対象とした階層化度」は、今回提案された階層化度の指標をさらに発展させるために重要と考えられるので、引き続きの研究を期待したい。</li> <li>・本来、道路ネットワーク計画については、道路ネットワークの機能階層性を考えて計画することが重要だが、現状での交通量容量の増加など量的指標の道路ネットワーク計画にとどまっているなか、道路ネットワーク計画で本来重要な道路ネットワークの機能階層性の評価手法を研究され、さらに実務でも活用できる研究成果とされており意義ある研究だったと考える。</li> <li>・道路ネットワーク側（供給側）の階層性の評価だけでなく、利用者側（需要側）の階層的利用の評価も含めた総合評価や、それらの乖離の要因分析等への展開が今後なされることを期待する。</li> <li>・都市構造を外生的に設定し、そこから分析を進められていたように思われる。ただ、道路建設によって立地、都市構造が変更されることもあり、その際の影響も考慮されるべきと考える。</li> </ul>			

※本事後評価は、新道路技術会議の各委員が評価を行い、第46回新道路技術会議において審議したものである。